

令和 8 年 度

青森県警察官採用試験案内 (警察官 A・通常枠)



採用情報ホームページ

令和 8 年 4 月 27 日
青森県警察本部
警視庁 (東京都)

《青森県警察官 (警察官 A・通常枠) 採用試験のポイント》

- ・ **受験資格年齢の引上げ**
⇒ 受験資格年齢を32歳から35歳へ引上げ (平成 3 年 4 月 2 日以降生まれ)
- ・ **早期枠 S P I 方式試験受験者も併願可能**
⇒ 早期枠 S P I 方式への試験区分に申し込んだ方でも、通常枠での併願が可能 (早期枠 S P I 方式の受付期間は終了しています。)

受付期間、第 1 次試験及び試験会場

受付期間	令和 8 年 4 月 27 日 (月) ~ 6 月 8 日 (月)
第 1 次試験	令和 8 年 7 月 12 日 (日)
試験会場	青森県警察学校 (青森市大字新城字天田内 130-5)
	青森県立弘前工業高等学校 (弘前市大字馬屋町 6-2)
	Y S アリーナ八戸 (八戸市大字売市字奥遊下 3)
	ソニックシティ (埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目 7-5)

1 試験区分、採用時期及び採用予定人員

試験区分 (警察官 A・通常枠試験)	採用時期 (採用予定日)	採用予定人員	
		青森県	警視庁
男性	令和 9 年 4 月 1 日	18人程度	3人程度
女性		10人程度	
武道指導/柔道		2人程度	
武道指導/剣道		2人程度	

- 注 1 採用予定人員については、現時点での予定であり、今後、変更になることがあります。
- 2 警察官 A・通常枠 (男性) 採用試験は、青森県警察及び警視庁が第 1 次試験を共同で行います。
- 3 採用時期について
警視庁で採用される場合は、令和 9 年 4 月 1 日以降の採用となります。
- 4 共同試験における第二志望の選択について
ア 警察官 A・通常枠 (男性) は、警視庁を第二志望として選択することができます。
イ 青森県と警視庁では、受験資格及び身体検査基準が異なりますので、「3 受験資格」、
「5 試験の種目」に注意して選択してください。
- 5 警察官 A・通常枠 (武道指導 (柔道/剣道)) について
ア 武道指導を志望する場合、第 1 次試験の試験会場は青森県警察学校となります。
イ 警察官 A・通常枠 (武道指導 (柔道/剣道)) 受験者は、警察官 A・通常枠 (男性/女性) を併願することができます。併願する人は、警察官 A・通常枠 (武道指導 (柔道/剣道)) 第 1 次試験が不合格となった場合でも、警察官 A・通常枠 (男性/女性) 第 1 次試験の合格点に達した場合、警察官 A・通常枠 (男性/女性) として第 2 次試験を受験できます。
警察官 A・通常枠 (武道指導 (柔道/剣道)) 試験の併願は第 1 次試験のみとなります。第 2 次試験での併願はありません。

2 職務内容

個人の生命、身体及び財産の保護並びに犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締り、その他公共の安全と秩序の維持に当たります。

なお、武道指導採用者については、前述の職務内容とともに、警察官の柔道又は剣道の訓練に係る指導に従事します。

3 受験資格

試験区分 (警察官A・通常枠)	実施機関	受験資格	
		年齢	学歴
男性	青森県	平成3年4月2日以降に生まれた者	学校教育法による大学（短期大学を除く。以下「大学」という。）を卒業した者又は令和9年3月31日までに大学を卒業する見込みの者（人事委員会が同等の資格があると認める者を含む。）
	警視庁	平成3年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた者	
女性	青森県	平成3年4月2日以降に生まれた者	なお、武道指導（柔道／剣道）を志望する場合は上記に加え、次の要件を満たす者 <input type="radio"/> 柔道 講道館が認定する段位3段以上 <input type="radio"/> 剣道 全日本剣道連盟が認定する段位3段以上
武道指導 (柔道) (剣道)	青森県	平成3年4月2日以降に生まれた者	

注1 警察官A・通常枠の受験資格中「人事委員会が同等の資格があると認める者」については、青森県又は警視庁で異なりますので、それぞれに問い合わせてください。

2 受験資格は、青森県警察官A・通常枠採用試験の受験資格であり、警視庁の受験資格については、警視庁に問い合わせてください。

次のいずれかに該当する方は受験できません。

- 日本の国籍を有しない者
- 地方公務員法第16条に規定する欠格条項のうち以下に該当する者
 - ・ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
 - ・ 志望先の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
 - ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 試験の日時、場所及び合格発表

試験	試験日 (開始時刻)	場 所		合 格 発 表		
		試験地	試 験 会 場	発 表 日	発 表 方 法	
第1次試験	7月12日(日) (午前9時00分)	青森市	青森県警察学校	青森県 警視庁	7月17日(金) (予定) 7月下旬	【青森県】 合格者に書面で通知するほか、合格者の受験番号を青森県警察本部の掲示板に掲示します。 また、青森県警察採用情報ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
		弘前市	青森県立弘前工業高等学校			
		八戸市	Y S アリーナ八戸			
		さいたま市	ソニックシティ			
第2次試験	8月下旬	青森市	青森県警察学校	9月中旬		【警視庁】 青森県警察と警視庁の合格発表日は異なりますので、直接警視庁に問い合わせてください。
		青森県				
	8月下旬	青森市	青森県警察学校	10月下旬		

5 試験の種目（青森県の場合）

試験	種目	内 容		
第1次試験	教養試験	警察官として必要な一般的知識及び知能について、択一式による筆記試験を行います。 (50題、2時間30分) 解答は、マークシート方式により行います。 【出題分野】社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈		
	適性検査	警察官としての適性について、質問紙法による検査を行います。		
	実技試験 (武道指導のみ)	武道（柔道又は剣道）について、実技試験を行います。		
第2次試験	論文試験 【第1次試験日に実施】	一般的課題により職務の遂行に必要な識見、判断力、思考力等について記述試験を行います (内容、論理性・思考力、構成・表現、国語力を評価します。)。 (800字以内、1時間) 【第1次試験合格者のみ、第2次試験で採点を行います。】		
	面接試験	警察官に適する人物かどうかについて、集団面接及び個別面接により試験を行います（姿勢態度、表現力、判断力、積極性、堅実性等を評価します。）。		
	適性検査	警察官としての適性について、作業検査法による検査を行います。		
	体力検査	警察官として職務遂行上必要な体力について、次の4種目により検査を行います。		
		検査区分	検査基準	
		男性(青森県の場合)	女性	
20mシャトルラン		折り返し回数24回以上	折り返し回数14回以上	
反復横跳び		36回以上/20秒	32回以上/20秒	
腕立て伏せ	19回以上	10回以上		
握力	左右平均28kg以上	左右平均20kg以上		
身体検査	次の検査基準により検査を行います。			
	検査項目	検査基準		
		男 性	女 性	
		青 森 県	警 視 庁	青 森 県
	身長	—	—	—
	体重	—	—	—
	視力	両眼とも裸眼視力が0.6以上または矯正視力が1.0以上であること。		
	色覚	職務の遂行に支障のないこと。		
その他	職務の遂行に支障のない身体的状態であること。			
上記検査は、医療機関等において検査した身体検査書により行います。 医療機関における検査料は個人負担となります。				

注 警視庁では第2次試験の種目が異なる場合がありますので、詳しくは警視庁にお問い合わせください。

6 配点基準（青森県の場合）

試験区分	第1次試験				第2次試験							合計
	教養試験	適性検査	実技試験	計	論文試験	集団面接	個別面接	適性検査	体力検査	身体検査	計	
男性	80	—	—	80	40	75 (適否)	100 (適否)	適否	40 (適否)	適否	255	335
女性												
武道指導 (柔道・剣道)	80	—	適否	80	40	75 (適否)	100 (適否)	適否	40 (適否)	適否	255	335

注1 表中「適否」とあるのは、適否基準を満たす必要があるものです。

2 第2次試験で設定された適否基準のいずれかを満たさない場合、論文試験は採点されません。

3 体力検査の適否基準では、4種目のうち2種目以上が基準を満たす必要があります。

4 身体検査の適否基準では、医療機関等において検査した身体検査書により、「就業に支障のないこと」が必要です。また、各項目（視力・色覚）ごとの基準を満たす必要があります。

5 警視庁の配点の基準は異なる場合がありますので、詳しくは警視庁にお問い合わせください。

7 第1次試験における資格加点について

下表の対象資格等を有する者で、加点を申請する者は、申請する資格・技能に応じて、第1次試験の得点に一定点を加点します。

○ 対象資格等

資格等区分	対象資格等【証明書類】	加点基準	加点数	資格等区分	対象資格等【証明書類】	加点基準	加点数
柔道	講道館認定 【段位証書、段位証明書】	初段	1点	英語	実用英語技能検定	2級	2点
		二段	2点		【合格証明書、スコアレポート等】	準1級以上	3点
		三段以上	3点		TOEIC(IPテストを除く)	470点以上	2点
剣道	全日本剣道連盟認定 【段位証書、段位証明書】	初段	1点		【合格証明書、スコアレポート等】	730点以上	3点
		二段	2点		TOEFL(PBT)	460点以上	2点
		三段以上	3点		【合格証明書、スコアレポート等】	550点以上	3点
中国語	中国語検定 【合格証明書、スコアレポート等】	3級	2点		TOEFL(CBT)	140点以上	2点
		2級以上	3点		【合格証明書、スコアレポート等】	213点以上	3点
	漢語水平考試 【合格証明書、スコアレポート等】	4級	2点		TOEFL(iBT)	48点以上	2点
		5級以上	3点		【合格証明書、スコアレポート等】	79点以上	3点
	中国語コミュニケーション能力検定 【合格証明書、スコアレポート等】	400点以上	2点		国際連合公用語英語検定	C級	2点
		550点以上	3点		【合格証明書、スコアレポート等】	B級以上	3点
韓国語	韓国語能力試験 【合格証明書、スコアレポート等】	4級	2点	ベトナム語	実用ベトナム語技能検定	4級	2点
		5級以上	3点		【合格証明書、スコアレポート等】	3級以上	3点
	ハングル能力検定 【合格証明書、スコアレポート等】	準2級	2点	情報処理 技術者試験	基本情報技術者試験【合格証書】		2点
		2級以上	3点		応用情報技術者試験【合格証書】		3点

○ 加点方法

- ・ 証明書類により、対象となる資格等の保有を確認できた者には第1次試験の得点に加点します。
- ・ 申請できる資格は、同一資格等区分で1つ、最大2つの資格等区分までです。
- ・ 対象資格等の級等に応じて加点されますので、最上位の対象資格等を申請してください。

〈異なる資格等区分を有する者の加点例〉

例	保有する対象資格等	加点数
1	柔道初段 と 中国語検定3級	3点 (1点+2点)
2	実用英語技能検定2級 と 応用情報技術者試験	5点 (2点+3点)
3	韓国語能力試験5級 と 中国語検定2級	6点 (3点+3点)

〈同一資格等区分を2つ以上有する者の加点例〉

例	保有する対象資格等	加点数
1	実用英語技能検定2級 と TOEFL(iBT)79点	3点【最上位：TOEFL(iBT)79点】
2	TOEFL(CBT)213点 と TOEIC470点	3点【最上位：TOEFL(CBT)213点】
3	基本情報技術者試験 と 応用情報技術者試験	3点【最上位：応用情報技術者試験】
4	中国語検定3級 と 漢語水平考試4級	2点【中国語3級と漢語4級は同位】

○ 申請方法

受験申込書の加点申請欄に申請する資格について記入してください。申請する場合は、受験申込時に資格を証明する資料の写しを提出してください。

申請しない場合も必ず「申請しない」にチェックを入れてください。チェックがない場合は、申請しないものとします。

○ 第1次試験当日

資格を証明する資料の原本を持参してください。

注1 第1次試験当日に原本による確認ができない場合は、加点しません。

2 加点は受験申込時までに上記対象資格等を取得済みの人に限ります。

3 申込時に提出された対象資格等を証明する資料の写しは返却しません。

8 最終合格者の決定方法


最終合格者は、試験の種目ごとに設定している適否基準を満たしている者について、第1次試験及び第2次試験の総合得点による順位で決定します。なお、警視庁の最終合格者の決定方法は異なる場合がありますので、詳しくは警視庁に問い合わせてください。

9 合格から採用まで


- (1) 青森県の採用試験の最終合格者は、青森県警察本部長の作成する採用候補者名簿に登載され、同名簿の中から採用が決定されます。なお、採用候補者名簿の有効期間は、原則として名簿が確定した日から1年間です。
- (2) この試験に合格し名簿に登載されても、所定の期日までに大学を卒業できなかった者や、「3 受験資格」を満たさない者は採用される資格を失います。
- (3) 採用後は巡査となり、初任教養を受けるために6か月間警察学校（全寮制）に入校します。
- (4) 警視庁の採用候補者名簿の作成及び採用の方法は、警視庁にお問い合わせください。

10 受験手続及び受付期間

(1) インターネットによる方法

受験申込	<p>下記URL(二次元コード)から「青森県電子申請・届出システム」にアクセスし、受験申込みをしてください。</p> <p>具体的な手続方法は「青森県電子申請・届出システム」ホームページで確認してください。</p> <p style="text-align: center;">https://apply.e-tumo.jp/pref-aomori-u/</p> <p style="text-align: right;"> 青森県電子申請・届出システム</p> <p>○ 手続き名「令和8年度青森県警察官A（通常枠）採用試験受付」を選択し、手続きを行ってください。</p> <p>○ 絞り込みで検索する場合は、検索キーワードに「警察」と入力し、検索してください。</p> <p>○ 申込みが完了した場合、申込完了をお知らせする自動返信メールが届きます。メール本文に表示された「整理番号」は、受験番号を確認する際に必要ですので、必ず控えてください。</p> <p>各種資格加点を申請する場合又は武道指導受験申込者は、資格を証明する書類の写しを、青森県電子・申請届出システムへの申込み時に所定の欄にアップロード、郵送又はメール(C251101@mail.police.pref.aomori.jp)により提出してください(第1次試験当日には原本を持参してください。)</p>
受付期間	4月27日(月)午前8時30分から6月8日(月)午後5時15分までの間に「青森県電子申請・届出システム」で受信したものに限り受け付けます。
受験票等の交付	6月16日(火)に青森県警察採用情報ホームページに「受験番号一覧表」、「受験票」及び「写真票」を登載しますので、第1次試験前日までに確認し、所定の方法により「受験票」及び「写真票」を作成してください。

(2) 持参又は郵送による方法

ダウンロード	<p>下記URL(二次元コード)から「青森県警察採用試験ホームページ」にアクセスし、ダウンロードしてください。</p> <p style="text-align: center;">https://www.police.pref.aomori.jp/keimubu/keimu/saiyo/bosyu_a.html</p> <p style="text-align: right;"> 採用試験ホームページ</p>
受験申込	<p>配布場所での入手 青森県警察本部警務課、県内各警察署、青森県人事委員会事務局、県庁正面受付、県庁北棟受付で入手できます。</p> <p>郵送での請求 封筒の表に「警察官A・通常枠試験案内請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角2)を同封の上、青森県警察本部警務課へ郵送してください。</p> <p>なお、試験案内を2部以上請求する場合は、郵便料金が異なる場合がありますので、青森県警察本部警務課に確認してください。</p>
受験申込方法	<p>直接持参 青森県警察本部警務課または最寄りの警察署(県内)に提出してください。</p> <p>郵送 封筒の表に「警察官A・通常枠試験申込」と朱書きし、受験申込書と受験票を同封の上、「簡易書留」で青森県警察本部警務課に郵送してください。</p> <p>資格加点を申請する場合又は武道指導受験申込者は、資格を証明する書類の写しも提出してください(第1次試験当日には原本を持参してください。)</p> <p>受験申込書を提出する前に、申込書及び受験票への記入状況、顔写真の添付を必ず確認してください。</p>
受付期間	4月27日(月)から6月8日(月)まで(ただし持参の場合、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。)
受験票の交付	<p>受付時間は午前8時30分から午後5時15分までです。</p> <p>郵送の場合は、6月8日(月)までの消印があるものに限り受け付けます。</p> <p>受験票は、6月16日(火)に発送します。6月19日(金)までに届かない場合は、青森県警察本部警務課まで連絡してください。</p>

注) (1)、(2)いずれの場合も、申込受付期間終了後の試験区分や試験地などの変更は認めません。

11 受験時の注意事項

- (1) 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器について、試験中の使用は認めません。また、時計について、計時機能のみのもの以外の使用は認めません。
- (2) 自然災害等により、やむを得ず試験が実施できない場合などの緊急のお知らせは、青森県警察採用情報ホームページでお知らせします（URLの二次元コードは1ページに記載）。

12 試験結果の情報提供

青森県の採用試験の結果は、受験者本人からの口頭による申出に応じて本人に対して次のとおり情報提供します。なお、電話、はがき等による情報提供はできませんので、受験者本人が下表に掲げる書類を持参の上、情報提供場所へ直接おいでください。

受付時間 平日午前8時30分から午後5時15分までの間（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

申出できる方	提供する情報	提供できる期間	情報提供場所
青森県の第1次試験不合格者 (青森県のみを志望した方)	第1次試験の得点及び順位	第1次試験合格発表日 から1か月間	青森市新町二丁目3-1 青森県警察本部 警務課 人事採用戦略室
青森県の第1次試験不合格者 (警視庁を第2志望とした方)		令和9年1月4日から 1か月間	
青森県の第2次試験受験者	第1次試験の得点及び順位、第 2次試験の試験種目別得点並び に最終総合得点及び最終順位	最終合格発表日から 1か月間	
情報提供を求める場合に必要な書類			
受験票及び本人であることを証明する書類（運転免許証、学生証、マイナンバーカード等）			

13 給与等

令和8年4月採用の大学新卒者（青森県の場合）

初任給は、採用前の学歴や経歴を考慮の上、決定されます。

初任給	各種手当	被服等	昇任
268,600円	6月及び12月に期末・勤勉手当が支給されるほか、支給条件に応じて扶養手当、通勤手当、住居手当等が支給されます。	採用と同時に制服、制帽のほか、靴、ワイシャツ、ネクタイ、防寒衣等が支給されます。	公平な昇任試験等により行われ、本人の努力次第で幹部警察官への道が開かれます。

<参考>

◎ 令和7年度青森県警察官A（通常枠）採用試験実施結果

試験区分	受験者	最終合格者	受験倍率
警察官A（男性）	60人	23人	2.6倍
警察官A（女性）	16人	10人	1.6倍
警察官A（武道指導／柔道）	2人	2人	1.0倍
警察官A（武道指導／剣道）	2人	1人	1.0倍

◎ 令和7年度青森県警察官A（通常枠）採用試験に出題した論文試験課題

青森県警察は「安全・安心を実感できる青森県の実現」を運営方針として活動している。これを踏まえた上で、あなたが考える「安全・安心」とは何か。また、警察官となった場合に安全安心を実感してもらうために何をすべきか、あなたの考えを述べなさい。

◎ 教養試験の例題

青森県人事委員会ホームページ及び県政情報センター（県庁東棟1階）で閲覧できます。

青森県人事委員会ホームページ https://www.pref.amori.lg.jp/soshiki/j-kanri/shiken_reidai.html

〔警察官A・通常枠採用試験受験申込書の記入要領〕

令和8年度 警察官A・通常枠 受験票

試験区分 (いずれか1つを○で囲む)	職種番号	受験番号
警察官A 通常枠	(男性) (武道指導/柔道) (女性) (武道指導/剣道)	
フリガナ	試験地 (1つ○で囲む)	
アオモリ タロウ	(青森市(弘前市))	
氏名	(八戸市(さいたま市))	
青森 太郎	※ 武道指導の試験地は青森市のみ	
併願の有無 (武道指導のみ記入)	併願する (併願しない)	
第2志望 (職業(男性)のみ記入)	警視庁 (希望しない)	

○ 試験日 令和8年7月12日(日)
○ 試験会場 青森県警察学校(青森市)
青森県立弘前工業高等学校(弘前市)
YSアリーナ八戸(八戸市)
ソニックシティ(埼玉県さいたま市大宮区)

試験職種	開場時間	試験開始時刻	終了予定時刻
男性・女性	午前8時15分	午前9時00分	午後3時30分
武道指導	午前8時15分	午前9時00分	午後4時30分

○ 注意事項

- 試験当日は、次のものを持参してください。
 - この受験票
 - 筆記具 (HBの鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム)
 - 上履き、下足入れ(弘前会場のみ)
 - 資格の証明書類の原本(資格加点申請者・武道指導受験者)
 - 昼食(全員)
 - 柔道・剣道着(防具)(武道指導のみ)
- 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器については、試験中の使用は認めません。
- 時計については、計時機能のもの以外の使用は認めません。
- 試験開始時刻に遅れないようにしてください。
- 八戸及び埼玉会場を除き、試験会場及びその周辺(店舗駐車場含む)は駐車禁止です。また、弘前会場は送迎のための自用車の乗り入れも禁止します。試験会場には公共交通機関を利用してください。
- ゴミは全て持ち帰ってください。
- 試験会場(学校敷地内)は全面禁煙です。

令和8年度 警察官A・通常枠採用試験 受験申込書

○ 黒か青のインク又はボールペンで、※印欄を除く全ての欄に書き添えて記入してください。
○ 併せるボールペン(フリクション等)は使用できません。
○ それぞれの欄が足りないときは、紙を割って書き足してください。
○ 申込書の必要事項を全て記入してから提出してください(返送可)。
○ 記入方法についての問合せは **青森県警察本部 警察官採用試験課** へお問い合わせください。
採用フリーダイヤル0120-337-314 電話017-723-4211(内線2664~2667) 受付時間は平日8:30~17:15

職種番号	受験番号	申込受付	1次受付	2次受付
※	※	※	□	□

写 真 欄
○ 写真は6か月以内に撮影したもので、正面からの顔写真とし、写真の大きさは、縦4cm、横3cm程度とします。
○ 写真の裏面に試験区分と氏名を必ず記入し、この欄にしっかりと貼り付けてください。
令和8年4月撮影

試験区分 (1つ○で囲む)	試験地 (1つ○で囲む)	併願の有無 <武道指導受験者のみ全員記入>	第2志望都県 <通常枠(男性)受験者のみ記入>
(男性) (女性)	(青森市(弘前市)) (八戸市(さいたま市))	1. 武道指導受験者で希望する人は、通常枠(男性/女性)を併願することができます。 2. 併願者で武道指導第1次試験不合格者のうち、通常枠(男性/女性)第1次試験の合格点に達した場合は、通常枠(男性/女性)として第2次試験を受験できます。武道指導試験の併願は第1次試験のみとなります。 3. 併願しない人は「併願しない」を囲んでください。	1. 通常枠(男性)試験は、第2志望として警視庁を選択することができます。武道指導受験者は警視庁を第2志望とすることができます。 2. 志望都県の変更は、原則として認められません。 3. 志望しない場合は「希望しない」を囲んでください。
フリガナ	アオモリ タロウ	性別	男性 (女性)
氏名	青森 太郎		
生年月日	平成16年10月8日生 (令和8年4月1日現在 満21歳)		
現住所	(〒000-1010) アパートの場合は、アパート名、棟室番号まで詳しく記入してください 青森市長島10-20-30 県警ハイツ110号 () 方		
連絡先	(〒111-1111) 弘前市本町100-20-30 アビレビ101号 () 方 実家 () その他 () 電話番号 0172-XX-XXXX		
学 歴	学校名(専門学校含む)	学 部	学 科
	青森新町	普通	青森市
	八戸城下大学	経済	経済
			八戸市
職 歴	勤務先名称	職務内容	所在地(市区町村まで)
	株式会社森の青	営業	むつ市
加点申請 (いずれかの□に○)	資格・技能名	種別・級・スコア等	取得年月日
<input checked="" type="checkbox"/> 申請する	剣道	二段	H 30年11月11日
<input type="checkbox"/> 申請しない	TOEIC	550点	H 25年2月25日

※1 加点申請のいずれかにチェックしてください。チェックがない場合は、「申請しない」ものとします。
※2 加点を申請する場合は、証明書の写しを必ず添付し、第1次試験当日に原本を持参してください。
※3 最大3資格区分の項目まで申請可能です。資格加点に関する詳細は試験案内ホームページをご覧ください。

私は、日本国籍を有しており、地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しており、地方公務員法第16条各号のいずれにも該当するすべての記載事項に相違ありません。
令和8年5月10日
氏名 青森 太郎 (自署)

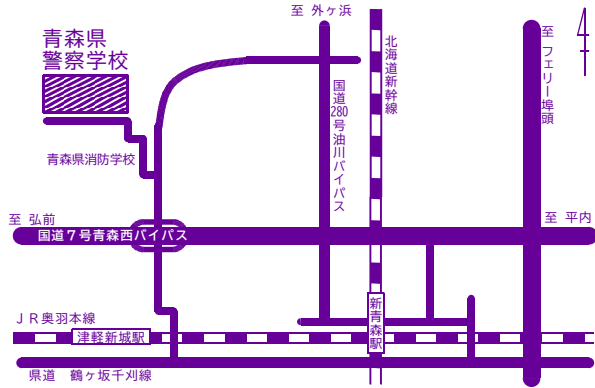
地方公務員法第16条に規定する欠格事項
○ 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
○ 志望する都県の職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
○ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を組織し、又はこれに加入した者

警察官試験区分	男性、女性、武道指導・柔道、武道指導・剣道のいずれか1つを○で囲んでください。武道指導受験希望者は、段位3段以上取得者が志望できます。
試験地	青森市、弘前市、八戸市、さいたま市のうち希望の試験地1つを○で囲んでください。
併願	武道指導受験者は、警察官A・通常枠(男性/女性)を併願することができます。武道指導受験者は、警視庁を第2志望とすることができません。
第2志望都県	警察官A・通常枠(男性)受験者は、第2志望として警視庁を選択することができます。武道指導受験者は選択することはできません。
電話番号	記載事項の確認や各種連絡のため電話する場合があります。必ず連絡の取れる電話番号を記載してください。
メールアドレス	記載事項の確認や各種連絡のためメールを送信する場合があります。必ず連絡の取れるメールアドレスを記載してください。
連絡先	現住所以外の連絡先(実家等)があれば記入してください。
学歴	高校卒～最終学歴まで記入してください。学校名は正式名称で記入してください。
職歴	アルバイトも含め、最近のものを一つ記入してください。無職の場合は、空欄としてください。
加点申請	資格加点を申請する場合は、加点対象となる資格を記入してください。「申請する」又は「申請しない」に必ずチェックしてください。資格加点に関する詳細は試験案内4ページをご覧ください。

第1次試験会場案内

各試験会場（八戸、さいたまを除く。）及びその周辺（店舗の駐車場含む。）は駐車禁止です。また、弘前会場は、送迎のための自家用車の乗り入れも禁止します。試験会場には公共交通機関をご利用ください。ゴミは全て持ち帰ってください。試験会場は全面禁煙です。

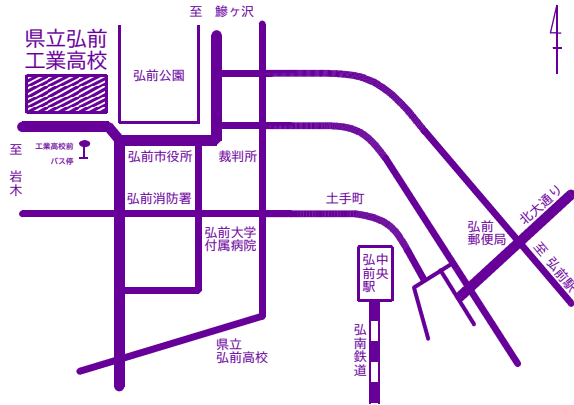
青森市（青森県警察学校）



【交通機関案内】

JR奥羽本線利用の場合は「津軽新城駅」で下車し、車で5分又は徒歩で25分です。
東北新幹線利用の場合は「新青森駅」で下車し、車で約10分です。

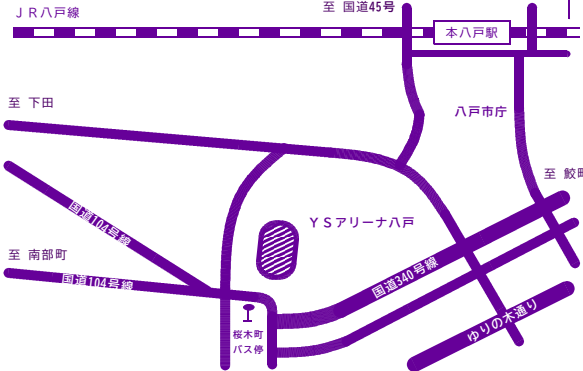
弘前市（県立弘前工業高校）



【交通機関案内】

弘南バス利用の場合は、弘前駅中央口6番のりばから岩木山線に乗車し、「工業高校前」バス停で下車します。
弘南鉄道利用の場合は、中央弘前駅から徒歩で約25分です。

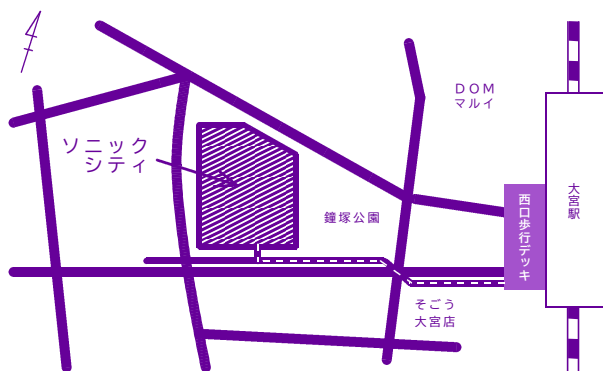
八戸市（YSアリーナ八戸）



【交通機関案内】

JR本八戸駅から徒歩で約20分です。
八戸市営バス又は南部バス利用の場合は、「桜木町」バス停で下車します。

さいたま市大宮区（ソニックシティ）



【交通機関案内】

大宮駅西口からソニックシティビル直結の歩行者デッキを徒歩で5分です。

お問い合わせ・受験申込み先

〒030-0801 青森県青森市新町二丁目3番1号

青森県警察本部
警務課 人事採用戦略室

採用フリーダイヤル

0120-337-314

代表電話

017-723-4211

(内線2664~2667)

受付時間 平日8:30~17:15

メールアドレス C25110I@mail.police.pref.aomori.jp

第2志望問い合わせ先〈警視庁〉

〒183-8555 東京都府中市朝日町三丁目15番地の1

警視庁 採用センター

採用フリーダイヤル 0120-314-372

青森県警察公式SNS



X



Instagram



YouTube